

こうふ町 議会だより

水しぶぎに
にぎやかな
歓声あがる



6月定例会……………2P～3P
いっぱん質問 町政を問う ……4P～5P
私のひと言 ……………8P

一般会計

補正額 3,254万円増額

(総額34億254万円)

歳出

総務費

(町営バス購入費) 963万円

(大山開山1300年祭
推進事業負担金) 250万円

(社協事務所購入費) 200万円

(社協事務所土蔵解体費) 250万円

(福祉センター前永井宅
購入費) 82万円

(福祉センター前永井宅
解体費) 298万円

(熊本地震災害応援事業費) 159万円

図書購入費(ケイブ寄附金)
(図書館・保育園・小学
校・中学校図書購入費) 100万円

防災費

(ドローン購入費) 61万円

江府町いきいき基金費
(サントリー寄附金) 1,000万円

歳入

主な補正内容

車両購入事業
県補助金
(町営バス購入費) 306万円

地方創生推進交付金
(大山開山1300年祭
推進費) 125万円

江府町いきいき基金
寄附金
(サントリー寄附金) 1,000万円

児童福祉費・図書購入・
中学校費・小学校費寄附
金
(ケイブ寄附金) 100万円

平成28年6月定例会は、6月13日に召集され5日間と定めて開かれました。今回の定例会には、条例の制定1件・改正3件、補正予算8件の12議案が上程されました。これらについて慎重に審議した結果、いずれも原案どおり可決しました。



来春完成予定の
サントリー第2工場



購入予定と同型のマイクロバス

条例制定

○江府町いきいき基金条例

この条例は、江府町が進める「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に対し「水と生きるサントリー」を掲げ、「天然水の森 奥大山」の自然を守るサントリー㈱が賛同し、又、地元江府町に貢献したいとの思いから制定された。平成28年度から5年間寄付を受けるもので、今年度は1千万円寄附された。

(目的)

第1条 この条例は、サントリー㈱からの寄附金を財源として、江府町が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の一環として、次世代を担う人材育成、文化、芸術活動、産業振興に関し、江府町に暮らす住民への支援を行う。(以下省略)

条例改正

○江府町税条例の一部改正

(国の地方税法改正によるもの)

○国民健康保険税条例の一部改正

(財政基盤の安定、負担の軽減を図るもの)

○江府町職員の給与に関する条例の一部改正

(熊本地震災害支援の職員派遣に伴うもの)

町政ここを問う

一般質問は2人の議員が行い、町長の方針をたどした



竹茂 幹根

竹内町長の退任に際して

問 竹内町長の退任に際して

答 町民の判断に委ねる

質問 3月議会で退任の表明があったが、住民の福祉の充実、施策をした中でやり遂げたこと、まだやり残したることなど伺う。

町長答弁

12年間、住民、議会の皆さんに、ご協力を頂き無事に大任を果たし、この7月末をもって退任することになった。成果とか、よかったこと、悪かったことについては、正直言って、町民の皆様が、この12年間で判断されることであって、

本人が申すべきことではないと思う。

問 「さかや」と再交渉すべきでは

答 再交渉はしない

質問 さかやの山林を町有林として買収した理由が理解できない。

町長答弁

町有林としないと山林が乱開発される、あるいは外資に買収される恐れがある、水源涵養林としての保全等の説明であったが、理解できない。大建工業と同額の1町歩13万で再交渉すべきだ。過去、3回詳細に答弁している。それ以上、上

も下も答弁はない。過去においても再交渉はしないとはつきり答弁している。

問 サントリーの地下水くみ上げ量の契約更新について

答 相応な地域貢献がある

質問

サントリーの地下水くみ上げ限度量50万トンから80万トンへの契約更新については、無料の水をくみ上げて利益を上げている。更新に際し住民の福祉の増進のためにも、それ相応の寄付を仰いでよいではないか。

町長答弁

地下水くみ上げ契約は、



増設された10号井戸

町とサントリーが交わしている契約で、根拠は企業進出するときは、環境影響評価のルールがあり、それに基づく契約です。誘致企業サントリーの進出で、これまで町の活性化に2800万円の寄付を頂いている。また、税として、固定資産税、法人税合わせて4億4千万円の財源が町に入っている。なお、地下水に対し税をかけることは法律上できません。

課題と期待は未来志向で



三輪 英男

問	プール全体の改修計画は
答	前向きに検討する

質問 小学校のプールの部分改修が終わりました。しかし、トイレ・更衣室の現状は、誠に劣悪な環境であり、町内事務調査でも、しばしば指摘している。早急に全面改修を実施されたい。

教育長答弁

更衣室・トイレに關しての状況は承知いたしております。現在のプールは43年も経過しており、毎年配管等の修理もかさま、今後は部分的な改修ではなくて、プールの建てかえを出来るか場所を

問	保育園の未満児入園状況は
答	低年齢児保育を慎重に対応

含め財源も合わせながら、今後検討してまいります。

質問 保育園入園の乳幼児の数が減少している中



で待機乳幼児がいるが対応はどうか。また、保育士の配置基準の緩和が検討されておるが、江府町においてはどのように認識されておりますか。

教育長答弁

今後、今以上の入園希望に対応するには、施設整備が必要になります。今後の出生数の推移等を見ながら対応します。

配置基準の緩和については、低年齢児の対応が課題ですが、江府町に生まれたい子供たちは、すべて受け入れてまいりたいと思います。

問	日本遺産登録のPR活動は
答	一市三町で強力に推進する

質問 大山山麓地域の日本遺産登録に関連した、江府町独自のPR活動がどう構築していかれるかが、まさしく、江府町の埋もれた観光資源の発掘に絶好の機会ではないで

しよつか。

町長答弁

この日本遺産登録をいかに使って、地域活性化、経済波及効果を生むかということだと思えます。しかしながら、上つ面だけではだめで、地に足のついたことを合わせてやらなければならぬと思えます。いつかの花火ではなくて長い間つながつて、日本遺産になつて来てみたらPRもよかつた、現場もよかつた、おもてなしがあつた、というふうになつていかなければいけないと思えます。



日本遺産に指定された大山寺（山門）

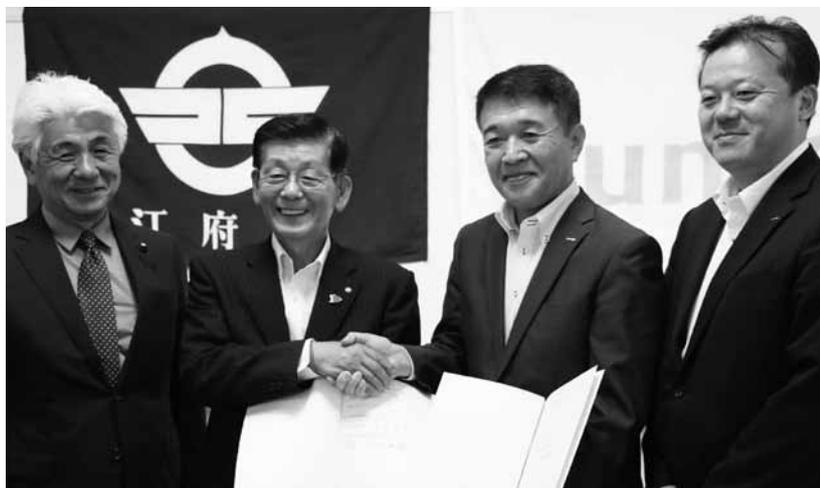
サントリープロダクツ(株)奥大山工場の揚水量を改正

年間揚水量 50万t → 80万t (事前協議)

改正前 年間50万tを超えて揚水を行う場合事前協議する。



改正後 年間80万tを超えて揚水を行う場合事前協議する。



第2工場建設に伴うサントリーとの調印式

企業誘致調査特別委員会を6月14日に環境保全協定の一部改正について開催した。
サントリープロダクツ(株)は第2工場建設に伴い、年間揚水量50万tを80万tに改正の要望を受けて、当委員会と協議を重ねてきましたが、本谷川・細谷川等数カ所に於いてモニタリング調査の結果を踏まえ、江府町議会としては改正することに全員一致で同意した。

環境保全に関する協定を改正 企業誘致調査特別委員会

陳情の審査結果

提出のあった陳情は、6月定例議会で審査した結果、下記のとおり決定しました

件名	提出者	審議結果
「名護市辺野古への新基地建設凍結と地方自治の尊重、国民的議論の推進を日本政府に求める意見書」提出に関する陳情書	反核・平和の火リレー鳥取県実行委員会 実行委員長 田中修一	趣旨採択 (賛成多数)
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 西村裕生 江府町職員労働組合 執行委員長 谷口博志	採 択 (全員一致)
保育士の処遇改善並びに職員配置基準の引き上げの緊急対応と財源確保を求める陳情書	鳥取の保育を考える会 会長 石井由加利	採 択 (全員一致)
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の陳情書	鳥取県教職員組合西部支部 支部長 藤本敏秀 鳥取県高等学校教職員組合西部支部 支部長 岡島恒志	趣旨採択 (全員一致)

《議員発議》

- ・陳情第4号、地方財政の充実・強化を求める陳情
- ・陳情第5号、保育士の処遇改善並びに職員配置基準の引き上げの緊急対応と財源確保を求める陳情を採択したことにより、意見書を次にあげる者に提出した。

『意見書提出先』

内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、
内閣府特命担当大臣（経済財政政策担当）、地方創生担当大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、
少子化対策担当大臣、衆議院議長、参議院議長

住民懇談会報告



「概況」

防災情報センターにて、4月13日に開催した。住民11名の出席と参加者は少なかったが、色々な地域から出席があり、活発な意見が出ました。議会からの報告の後、意見交換に入ったが概ね有意義な意見交換となった。出席者の意見には、其々議員から丁寧に返答を行った。時間が許せばもっと議論したい方が多くおられ、今後の課題としたい。出た意見は、報告書を作成し町長に提出し内容について説明し、住民の意見として受け止めるよう要望した。

主な意見

問 シングルマザーに優しい町、子育てしやすい町にし人口増につなげては。

答 浜田市で実施されており検討課題です。

問 観光ガイドの事業があるが、具体的にどのような内容か。

答 奥大山古道などがあるが、内容については今後決められます。

問 体育館のトレーニング室の活用をすべき。

答 現在の器具は古く、今後器具の入れ替えや指導員の配置など検討したいです。

問 民俗資料館（江美城）の活用をすべき。

答 一般の方から、300万円の寄付金で屋根等の修理を行った。今後、資料や展示品を整理し公開していきたいです。

問 天の虫のコミック、十七夜、江美城など関連して観光事業の展開を。

答 観光は重要な事業と捉えており、今年の地方創生事業で予算化しています。

問 明倫小、江府中跡地の活用は。

答 サントリー・日通など住宅の需要があり現在、民間事業で住宅の整備や宅地分譲を行う計画です。

問 貝田集落手前の十字路に、看板設置を。

答 実施するよう行政に伝えます。

問 職員の地域担当を決め有効利用しては。

答 担当職員は決めているが、役割が活されてないので今後の課題です。

問 道の駅のトイレを反対側にも設置を。

答 行政に検討するよう伝えます。

問 総合戦略に対する各議員の考えは。

答 各議員が其々の考えを述べました。

問 議会議事録のコピーを図書館にも置くべきでは。また議会の映像を。財政負担が少ない方法を検討しています。

問 総合戦略の人口目標に対する具体的な方策は。小さな拠点作りとは。

答 ウルトラCはない。総合戦略の中に若い世代が残れるよう多くの政策があり、それを出来る所からやるということです。

問 農業、農地をどう守るか。

答 江府町に人が住むうえで重要な問題であり深刻に受け止めている。集落営農や農業公社など議論を深めたいです。

問 役場庁舎はどうなっているか。

答 昨年10月に町長からJAに文書で申し入れをし、書面で期待に添えないと回答があった。納得できかねる内容であり3月議会でJA植田専務、竹内町長と直接話し合った結果、今後も協議を行う事になりました。

問 役場庁舎について一般の住民に情報がない。住民の意見も聞かなくては。

答 JAとの交渉があり、住民に情報が十分届いていない。今後しっかりと伝えます。

問 庁舎建設は将来の財政負担や中学校跡地など別の土地の利用も検討すべきでは。

答 JAとの交渉も含め、将来、禍根を残さないよう財政も含め議論していきたいです。

問 地域おこし協力隊が残れるよう、十分な支援と配慮を。

答 残念ながら、3名の隊員が辞められた。今後、色々な方策で残って行けるよう応援していきます。

御出席頂きありがとうございます。今後とも住民の皆様の声を聴く機会を持ちたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



地域を理解する

武庫
長谷川 誠

はじめまして。この度、地域おこし協力隊として江府町観光協会で働かせていただくことになりました。島根県松江市出身の41歳、長谷川誠と申します。今まで制作業務関連の仕事をしておりました。日々パソコンに向き合う仕事柄「自然」という物を意識するようになり気がつけば毎週、山に向かう日々を過ごしていました。そういった中でもっと自



然と繋がり、地域に貢献できるような仕事がしてみたいと思うようになりました。そういう想いの中で奥大山の江府町を知りました。江府町は、大きな山と綺麗な川にはさまれた個性的で自然豊かな町です。こういった環境を背景に行われる町あげての歴史ある行事もとても魅力的だと感じました。現代社会において失われつつある物がここには間違いないが残っています。今後は、江府町を理解しこれまでの業務経験を活かして、江府町の魅力を県外に伝えると共に「江府町に行ってみよう！」と思わせれる要素を作っていければと思います。

江府町に来て

新道
川上 結衣



長男が小学生になると同時に、米子から江府町にやって来て、早5年目になります。はじめは『江府町？どこ？県外？』と場所も知らず、新しい環境に馴染めるのかなどと親子共々不安いっぱいでした。しかし、家族、友だち、地域の方々に支えられ、毎日楽しく暮らしています。とても感謝しています。

優しく人気者の長男（小5）笑顔のかわいいマイペ

「スな長女（小2）明るくよく食べる我が家の元氣印の次女（4歳）今年のお正月に生まれた全てがかわいすぎる次男は豊かな自然の中で元氣いっぱい育っています。米子にいる時は、車の往来も多く、子どもたちをなかなか外で遊ばせてやれなかつたけど、この江府町ではそんなこともなく、近くに住むおじいちゃんおばあちゃんに頼りながらもとても良い環境で子育てをしています。

江府町を知らない人は、意外と多いと思うので、もっとPRをしていけばいいと思います！私にできる事は限られています。S、N、Sなど、様々な物で「江府町はこんな町！こんな事をしている！良い環境だよ！」と言っていく。そして、誇れる気持ちを親子で育んでいきたいです。虫は多いし熊は出るし、いい事ばかりではありません。でも私の大切な人達は、この町を愛しています。目指せ、本当の「こうふくちょう」



▼鳥取島根両県の選挙区を一つにした憲政史上初の合区と、18歳選挙権が国政で初めて適用された第24回参院選は与党の圧勝で終わりました。しかし合区は地方を元気にしようという地方創生の考えと逆で、地方の声が国政に届かなくなる危険性があり、合区の解消を強く求めるものであります。▼単独でのまちづくりを選択した町民の付託に答え3期12年間、危機的な状況であった財政を見事に立て直し、江府町の発展と町民の福祉の向上にご尽力をいただいた竹内町長が7月31日で勇退されます。長い間のご苦勞に対し心から敬意と感謝を申し上げます。

川端 雄勇

議会広報調査特別委員会

委員長 上原 二郎
副委員長 三好 晋也
委員 川端 雄勇
三輪 英男
川上 富夫